

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和5年12月18日(2023.12.18)

【国際公開番号】WO2022/201856  
 【出願番号】特願2023-508725(P2023-508725)

【国際特許分類】

A 6 1 M 11/02(2006.01)

B 0 5 B 7/08(2006.01)

【F I】

A 6 1 M 11/02 C

B 0 5 B 7/08

10

【手続補正書】

【提出日】令和5年9月22日(2023.9.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0016】

本発明の第7態様によれば、前記液体供給口の開口寸法は、前記第1断面に直交する横方向の最大寸法が、当該横方向に交差する縦方向の最大寸法よりも大きい、第1態様から第6態様のいずれか1つに記載の霧化器を提供する。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

【0017】

本発明の第8態様によれば、前記気体供給口の開口寸法は、前記第1断面に直交する横方向の最大寸法が、当該横方向に交差する縦方向の最大寸法よりも大きい、第1態様から第7態様のいずれか1つに記載の霧化器を提供する。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0067

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0067】

図14、図16に示すように、実施形態1の第1傾斜面70、第2傾斜面72、液体供給面74および第3傾斜面76はいずれも、曲面形状を有している。実施形態1では特に、曲率が一定の円弧形状としている。

40

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0068

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0068】

図16に示すように、気体供給口52を平面視する方向から見たときに、稜線78、80、82はいずれも、気体供給口52から横方向(X方向)に離れるにつれて、液体供給

50

口 5 8 における液体の流れ方向 Q 1 の上流側（矢印 Q 2 ）に近づく形状を有する。第 1 傾斜面 7 0、第 2 傾斜面 7 2、液体供給面 7 4 および第 3 傾斜面 7 6 も同様に、流れ方向 Q 1 の上流側に近づく形状を有する。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 4】

また実施形態 1 の霧化器 2 では、気体供給口 5 2 の開口寸法は、図 1 5 に示す第 1 断面に直交する横方向（X 方向）の最大寸法である横幅 L 1 が、横方向に交差する縦方向（Y 方向）の最大寸法である縦幅 L 2 よりも大きい。このような構成によれば、より広範囲に陰圧を発生させることができる。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 1 5

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

20

30

40

50



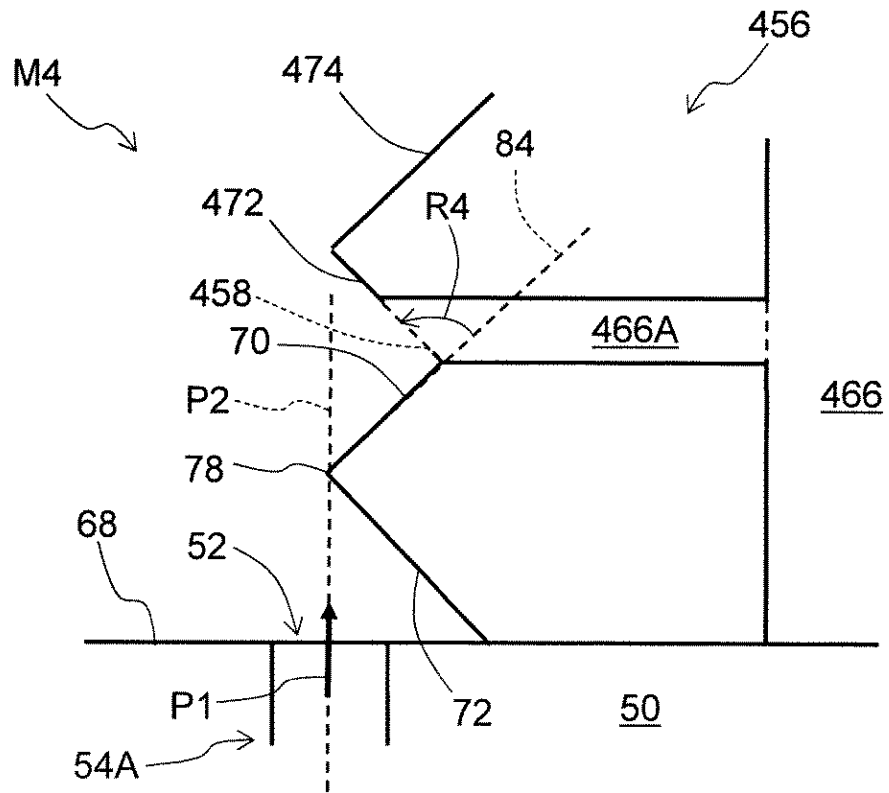






【図19D】

図19D



10

20

【手続補正11】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図19E

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

40

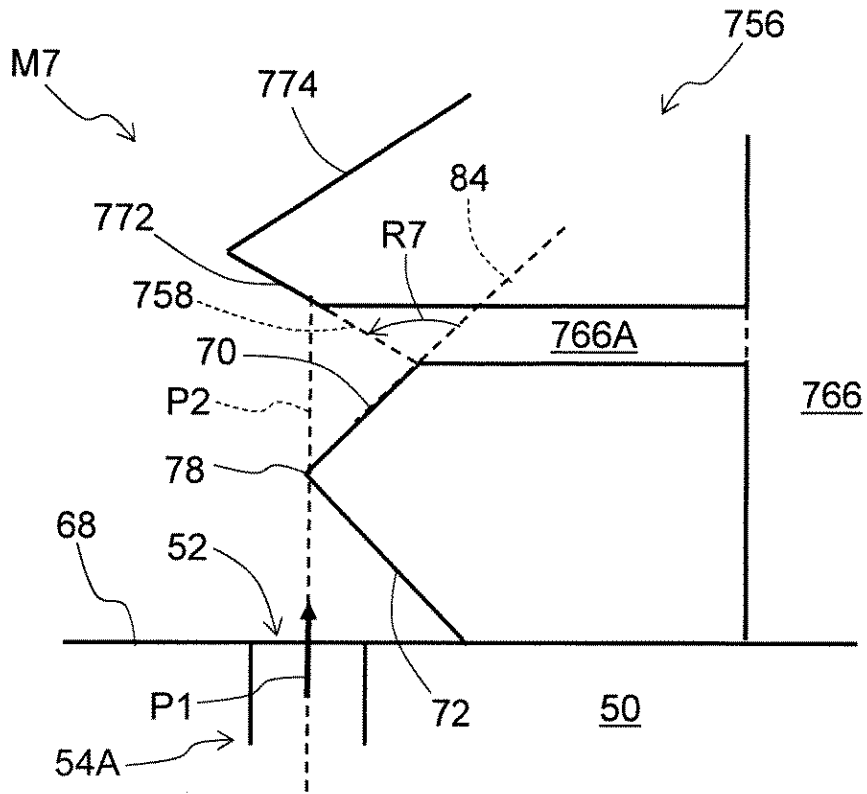
50





【 19G】

19G



10

20

【手續補正14】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図19H

【補正方法】変更

【補正の内容】

30

40

50

